

# 村上洋子

## REPORT



稲城・生活者ネットワーク REPORT NO.111 2023. 3.15

発行：稲城・生活者ネットワーク 発行責任者：飯島智佳子  
〒206-0804 稲城市百村 1608-3 サンコーポ 202  
TEL:042-379-2435 FAX:042-379-2435  
E-mail inagi@seikatsusha.net URL <https://inagi.seikatsusha.me>

■稲城・生活者ネットワーク村上洋子の活動を紹介します。



# ひとりにならない子育て・介護

格差が拡大し閉塞感が強まるなか、社会矛盾を解決に導くことができる新しい政治が求められています。多様な人々が、互いの個性を大事にしながら協調して暮らす。持続可能な社会を築くために、税金の有効な使いみちと世代を超えて共生するルールをきめることが、政治の果たすべき役割です。安心の子育て・介護・医療・住まいや教育を誰もが受け取ることのできる稲城を実現するために、3期目に挑戦します。



<https://murakamiyoko.seikatsusha.me>



MurakamiYoko (公開)  
選挙ドットコム 村上洋子

Youtube (村上洋子)

### プロフィール

#### 村上洋子 むらかみ・ようこ

- 1955年 山形県生まれ、県立長井高校卒業
- 78年 法政大学文学部地理学科卒業、共済組合連合会、教育映画会社に勤務
- 85年 結婚、出産、調布ネットの活動に参加「調布産野菜の直売所マップ」作り、や給食野菜生産農家との懇談会などを開催
- 99年 多摩南生活クラブ生協理事 2期4年、双方の両親の介護始まる
- 04年 調布市子ども条例制定準備委員会委員
- 07年 稲城市若葉台に転居
- 08～15年 若葉台バオバブ保育園に勤務
- 09年 稲城・生活者ネットワークに参加
- 14年 生活クラブ生協まち委員、たすけあいワーカーズこんべいとう設立準備会メンバー
- 15年から 稲城市議会議員 2期8年、総務委員会委員、福祉文教委員会委員長、三市収益事業組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員、多摩川衛生組合議会議員、都市計画審議会委員
- 資格：中学・高校教員免許（社会）、保育士資格、剣道二段、
- 家族：夫、長男と3人暮らし、長女、次女は独立 ●若葉台在住

生活者ネットワークは、東京都内 34 の自治体にあり、都議、市・区議あわせて 41 人の女性議員をもつ地域政党です。

村上洋子さんを応援します

#### 山田 真 小児科医

わたしたちをとりまく環境の悪化はとどまるところを知りません。香害やPFOS汚染などにとりくむ生活者ネットワークは市民の代弁者です。強く推します。



#### 近藤恵津子

NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長

みどりの食料システム戦略、フードテックなどの国の動きにしっかり目を向けつつ、学校給食を切り口に地域の人々がつながって、環境にこれ以上負荷を与えない、真にいのちを大切にしたい地域づくりを実現するために、生活者ネットワークの力が今こそ必要です。



#### 山田正彦

弁護士／元農林水産大臣

#### 天笠啓祐

ジャーナリスト

#### 三木由希子

NPO情報公開クリアリングハウス理事長

#### 鏡 諭

法政大学大学院兼任講師

#### 瀬戸大作

一般社団法人反貧困ネットワーク事務局長

#### 岩永やす代

東京・生活者ネットワーク都議会議員

#### 中村美穂子

元稲城市議会議員

# オーガニック給食と 地場野菜の活用で、人も畑もまちも元気に！



毎夏に全都で実施する水辺の生き物環境調査。  
上谷戸川、若葉台公園、上谷戸親水公園の水質調査、生き物観察

## ■3期目に目指すこと

オーガニック給食でまちづくり！稲城の新鮮な地場野菜を、もっと給食に！そして、オーガニック食材の割合ももっと増やして、子どもたちに健康になってもらいたいと思います。市内産野菜の活用で「働く場」の確保もできます。オーガニック給食で人も畑も、まちも元気にしていきましょう！

「こども基本法」の成立を受けて、自治体の子ども計画の改定が行われます。計画に、「子どもの権利」をしっかりと書き込んでいくこと、子どもの意見を聴き、子ども参加で計画を策定していくことを議会で訴えていきま

す。また、人権の視点を重視した包括的性教育を推進します。

インクルーシブなまちづくりをすすめます！多様な性や障がいについて理解を深め、互いを認め合う施策を推進します。そして、貧困や高齢期の孤立を自己責任ととらえるのではなく誰もが生きがいを持って自分らしく生きられるまちづくりに取り組みます。

## ■8年間で実現したこと

- ・フィンランドの「ネウボラ」を議会で紹介し、子育て支援の充実を訴え、2021年より「稲城版ネウボラ」として「おやこ包括支援センター」がスタート
- ・多様な性と包括的性教育について、誰よりも多く議会で質問
- ・水道水の有機フッ素化合物 (PFAS) の情報公開を求め、稲城市HPに掲載スタート(23/3/7)

## 稲城・生活者ネットワーク 村上洋子の提案

# 私らしく 生きるための 政治



ひとりにならない子育て・介護  
ケアする人、ケアラーの支援をすすめる  
ヤングケアラーの調査と支援をすすめる  
子どもにやさしいまちづくりを！

子育て・介護  
政策に 全力！

オーガニック給食を推進する  
人権の視点を重視した包括的性教育をすすめる  
発達障がいとの相談・支援体制を強化する  
自己肯定感を高く、互いの人権を認めあえる教育をすすめる  
子どもや若者の意見を聴き、まちづくりに活かすしくみをつくる  
多様性を認め合い、  
すべての人の人権が保障されるまち

性の多様性の理解を推進し、東京都パートナーシップ宣誓制度の活用をすすめる  
セクハラ・DVの禁止、賃金や社会保障、働き方の見直しをすすめる  
ジェンダー平等を実現する

若者が希望を持てるまち  
失敗しても再チャレンジできるリスクリングの機会をつくる

緑と農業を守る

地場農産物の給食への活用、地産地消を推進  
休耕地を借り上げ給食野菜を生産するしくみをつくる  
山林など緑と環境の保全に必要な土地の税負担の軽減を行う

原発ゼロ、持続可能な社会をつくる

カーボンニュートラル計画を市民参加でつくる

大事なことは市民が決める

施策の決定過程の情報公開を進める

憲法を活かし、平和をまもる社会をつくる

自治体から平和を守るアクションを起こす

## 生活者ネットワーク 3つのルール

- 1 議員は交代制 (ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

みなさまのカンパを募集しています

カンパ振込先 郵便振替 00170-7-191206  
稲城・生活者ネットワーク



森田明美東洋大学名誉教授を迎えて開催した、子ども政策学習会で、東京・生活者ネットワーク子ども部会長として、学びの場に臨む。2022年8月2日

